

がん死をなくすことを目指したがんプレジジョン医療

公益法人 がん研究会がんプレジジョン医療研究センター

中村祐輔

2015 年の一般教書演説でオバマ元大統領は「プレジジョン医療」計画を宣言しました。そして、2016 年には、アポロ計画に匹敵する、「がんの治癒」を目指した「ムーンショット」計画を打ち出しました。アポロ計画が打ち出されたころ、私たちの世代は夢物語だと思いましたが、高い目標を掲げ、そこに向かって到達するためのプロセスを戦略的に考えれば、夢は実現することを目の当たりにしました。この「プレジジョン医療」や「がん予防」「がん治癒」という目標は、「人工知能」、「免疫療法」、「ゲノム」という3つのキーワードによって可能となり、がん治療の革命的变化が起こりつつあります。遺伝子解析技術が21世紀になって驚くほど急速に進み、がんという難敵に関する膨大な情報や種々の遺伝的リスクを手にすることができるようになりました。がんという敵を知ることによって、がんは予防すること・簡単に早期で見つけること、そして、治すことができる病気になってきました。ゲノム解析をして、人工知能で敵を詳しく分析し、最適の治療法を提案することができるような時代になってきています。進行がんでも、患者さんが生きていと望み、家族が生きていてほしいと願うならば、その想いに希望の光を照らし、笑顔を取り戻してあげることが医療だと思います。がん患者や家族が日本という国に生まれてよかったと思える時代に向かって、若い人は頑張ってくださいと願っています。

略歴

1977 年 大阪大学医学部卒業

1984 年 ユタ大学ハワードヒューズ研究所研究員

1987 年 ユタ大学院類遺伝学教室助教授

1989 年 (財)癌研究会癌研究所生化学部長

1994 年 東京大学医科学研究所分子病態研究施設教授

1995 年 東京大学医科学研究所・ヒトゲノム解析センター長

2005 年 理化学研究所ゲノム医科学研究センター長(併任)

2011 年 内閣官房参与・内閣官房医療イノベーション推進室長

2012 年 シカゴ大学医学部教授

2018 年 内閣府「人工知能ホスピタル」プロジェクトリーダー

2018 年 公益財団法人がん研究会プレジジョン医療研究センター所長

2018 年 東京大学名誉教授、シカゴ大学名誉教授